

ウィーン一流音楽家と共演楽しみ



演奏を披露するウィーン木管五重奏団のメンバー＝浜松市中区下池川町の浜松学芸高で

きょうアクト 浜松の高校生本番へ準備

超一流音楽家の技術が浜松市内の高校生に伝えられた。同市中区のアクトシテイ浜松で十三日、ウィーン交響楽団などで活躍するトップ奏者によるコンサートが開かれる。当日、交流演奏する浜松学芸高校(同)と浜松江之島高(同市南区)で音楽を専攻する生徒二十四人が浜松学芸高で、出演する奏者らに指導を受けながら、リハーサルに臨んだ。

「アドバイスもおもしろくて、雰囲気も音もすごかった」。各奏者をまとめる

コンサートマスターを務める浜松学芸高三年の望月崇史さん(二七)は、フルートのマティアス・シュルツさん(五〇)らから助言をもらい興奮気味に振り返った。

リハーサルでは、ウィーン木管五重奏団メンバー五人とともに生徒が演奏。強弱の付け方などのアドバイスに、生徒は熱心に耳を傾けていた。マティアスさんは「素晴らしい演奏だった。この年齢にしては高いレベル。生徒たちと舞台の上で演奏できるのは楽しみだよ」と語った。リハーサ

ル後にはメンバー五人によるサプライズ演奏があり、生徒たちは技術の高さに驚きの表情を浮かべていた。十三日はモーツアルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」など二曲を交流演奏し、木管五重奏団が十曲を演奏する予定。望月さんは「緊張すると思う

が、自分のやるべきことをやって本番を楽しみたい」と笑みを浮かべた。チケットの購入は現在当日券のみで、十三日午後五時半から会場入り口で販売。大人は税込二千四百円、子ども・二十八歳以下の学生は千円。公演は午後六時半から。(長谷川竜也)